

”心にのこる歌”  
生まれつづけてほしい

不法録音物撲滅  
キャンペーン  
2001 REPORT

不法録音物対策委員会

## “心にのこる歌” 生まれつづけてほしい。

20年くらい前、ラジオや有線放送のベスト10などの曲は、5～10万枚（本）の売上がありました。しかし1990年代のカラオケブームの中、有線でのヒットに伴うはずの売上が2～3万枚（本）で止まってしまうという不思議な現象が起きてきました。この問題については様々な分析が行われましたが、その結果、カラオケ教室での不法録音問題が大きく取り上げられました。本来なら生徒さん一人一人が購入するはずの音楽CDやカセットテープが簡単にダビングされてしまい、10枚（本）売れるはずが1枚（本）しか売れないという事態が全国で起きていたのです。このまま売り上げが落ちれば音楽の創作に携わる作家、歌手、レコード会社が歌をつくりつづけられなくなると心配されました。

ご存知のように音楽には著作権・著作隣接権があり、その権利を大切にすることによってはじめてすばらしい歌が生まれ、歌を楽しみ、感動を分かち合うことができます。不法録音はこの音楽再生の輪を断ち切ってしまう。このままでは日本の歌、演歌・歌謡曲の火が消えてしまう、歌を愛する皆様と協力して日本の歌を守ろうと、音楽関連団体は1997年5月「カラオケ教室不法録音物対策委員会（略称：カラオケ対策委員会）」を発足させ、積極的に不法録音対策に取り組んでまいりました。

この委員会の4年間の活動と皆様のご協力のおかげで著作権・著作隣接権に対する理解も深まり、カラオケ教室での不法録音は改善の方向に進んできております。また、それに伴い演歌・歌謡曲の売り上げも委員会設立当初2%程度であったシェアが2000年4月には5%近くまで上昇しており、その後も順調に推移しています。

しかしながら録音機器の発達によって、不法録音も幅広く行われるようになってきており、今後ますます著作権思想の普及活動の重要性が増しております。そのためカラオケ対策委員会は、今までのカラオケ教室を対象とした活動から、各種音楽教室まで活動範囲を広げ、2001年4月新たに「不法録音物対策委員会」を発足させ、活動を続けていくことにいたしました。

初年度の2001年度は各種音楽教室の実態調査を行い、舞踊教室や新舞踊教室、ダンス教室、ジャズダンス、ハワイアンやピアノ・ギター教室などの実態が明らかになりました。

広報活動では、トーク&コンサートを長野・前橋の2ヶ所で開催し、歌のできる道のりを描いたビデオを上映し、歌を愛するもの同士の絆を深めることができました。また、テレビ・ラジオ・新聞などを利用した広報活動を行う一方、全国各地で著作権講習会を開催し、たくさんの皆様にお集まりいただき著作権・著作隣接権について認識を高めあうことができました。

この活動は著作権思想の普及・啓発活動であるとともに、歌を愛する皆様に、これからももっといい歌を聴き、歌い、そして楽しんでいただくため、お互いが何をすべきか、また、何を求めていくのかについて考え、より交流を深める環境づくりであると実感しております。

心に残る歌、すばらしい歌がこれからも生まれ続けられるよう、わが国の音楽文化発展のためにも、今後も委員会の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

不法録音物対策委員会  
委員長 木村三郎

## ビデオメッセージより

星野哲郎（作詞家・日本音楽著作権協会会長）



かつて“音楽に国境はない”という言葉信じ、多くの作家たちが作品を創ってきました。音楽は世界共通であり、それを通して国と国とが仲むつまじくなれると…。残念ながら、今は違う意味として使われることが増えてきました。たとえばアメリカで放送したものがそのままインターネット等を通じ、いつでもどこからでも簡単に不法ダビングできてしまう。この状況が続くと音楽はある意味、死んでいくことになってしまうのです。我々作家は、生み出すことはできても育てることはできません。歌を聞いて下さる方、あるいは、歌って下さる皆さんに育ての親になって頂きたいと思っています。

遠藤 実（作詞・作曲家）



花を眺めてつくづく思いました。花の美しさは人の心を和ませてくれる、花は私たちのために、生まれ咲いてくれているのです。そして、歌もまた、人生の友として、生まれてくるんだと…。皆さんの懐かしい思い出をよみがえらせたり、素直で優しい心にしてくれる、時には人間に生まれてよかったと思いはせることもあるのではないのでしょうか？ 歌には明日への原動力を高める効果があると思うんです。そんな歌を愛する皆さんにお願いがあります。不法ダビングは絶対に、やめていただきたい。そして、私たちが作る歌の権利を、著作権を、守っていただきたいのです。どうぞよろしく。

もず唱平（作詞家）



日本は、資源無き先進国と言われていています。しかし実は、“文化的創造物”という資源は大変豊富なのです。それは知的所有権の中の著作権法というもので保護されていることはご存じだと思います。この権利がいま以上保護されるならば、我々の国も、そして我々の生活も文化的に豊かになるはずですよ。

ただ音楽著作権は、形が見えないものです。ついおざなりにしたり、忘れてしまったりしがちになる事が非常に残念でなりません。ぜひ皆様のご理解をいただき、世界に誇れる日本の音楽文化を守っていただきたいと願っております。

三木たかし（作曲家）



歌が生活の一部になっている現在、約7割の方は演歌歌謡曲を歌っていると思います。ところがCD・テープの売上は、たった数パーセントという不自然な状態が続いています。つい何気なくコピーすることで手に入れて、歌を聴いたり、唄って楽しんだりしている。その結果、各レコード会社が演歌歌謡曲から撤退する動きが増えています。このままですと、歌うものがなくなってしまう、そんな時代がやってくるのではと恐怖感を抱いております。音楽に関わる人々全員が、いい歌を作りたい、いい歌を残していきたい、日本人としての文化を残したい、そんな熱い思いで一曲一曲作っております。どうぞ大切に扱っていただきたいと思っております。

## オープニング『愛する歌～その道のり』

(長谷川千恵「流れて港町」ができるまでを追う)

### 街は音楽であふれている。

音楽を耳にせず、一日を送ることは、不可能なほどである。

私たちは、いつでも自分たちの聴きたい、唄いたい歌を手にとることが出来る。



一年間に発売される演歌・歌謡曲のCDは約1600タイトル。

その中の一握りがヒット曲となる。

しかしそれは結果であり、歌に関わる人々の一番の目標は、“**いい歌を作り  
たい**”、その想いに尽きるのだ。

今この瞬間も、どこかで、誰かが愛情を込め、歌を創ろうとしている…。

どれだけ多くの人々が“**想い**”を込め、

どれだけ多くの時間とエネルギーを使い、一枚のCDを世に送り出しているのか？ 普段見ることのできない世界を覗いてみたい。



このCDを企画し商品にする責任者、プロデューサー・松下章一は、歌い手に、何を表現させたいか？

聞き手の人々が感情移入でき、共感できる世界はなにか？

そのためにはどの作家に曲を依頼するか？

など、多くのことを考えなくてはならない。

今回のコンセプトは、「旅をしていて港町に居着いた女性の物語」に決定した。



失われつつある日本の風景を歌に残していきたいと活動している作家、たきのえいじ氏に詞を依頼した。

プロデューサーの要求を越えた作品を創ろうともがき、苦しみながらも、言葉を紡いでいく。

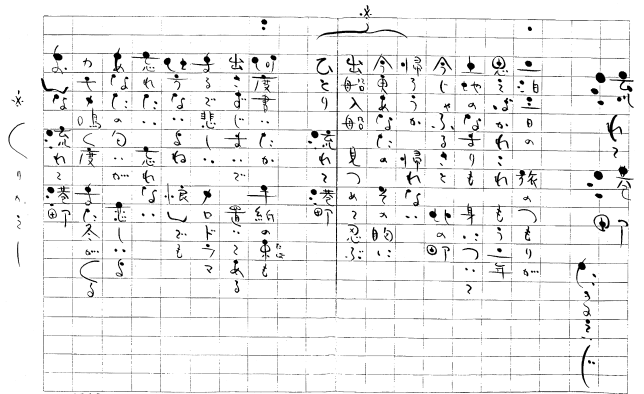
たきの氏は最初の一行を書きだすまで、一本の映画を作るように、いろんな映像を思い描いているという。

その中のワンシーンを切り取って、詞にしていく。



一曲の詞の中には、何十ページものストーリーがあるのだ。

そして一人の女性の姿が、生き生きと描かれていった。



長谷川千恵を見だし、ここまで育てた鈴木淳先生が作曲を担当。

今回は詞が先行したため、たきの先生の自筆の文字の温もり、かおりを感じつつ、描かれたドラマを、いかにメロディにするかの戦いが始まる。

時々、“5分でメロディが浮かび完成した”という言葉聞くことがあると思うが、実はそこまでの助走は果てしなく長く険しいものである。

こんなたとえで言えばわかってもらえるかもしれない。自分の能力を雑巾のように絞り出し、その最後の一滴こそが歌となるのである。七転八倒の末、曲は完成した。



たきの先生の詞に、鈴木先生の美しいメロディが加わったことで、歌の女性像がより鮮明に浮かび上がった。

早速、長谷川千恵を傍らに、共に唄いながら細かくニュアンスを伝えていく。その姿は、歌を通し先生の中に生まれた、女性の人生を長谷川に、少しずつ語っているかのようにも見える。



…レコーディング前に、これだけ多くのドラマが存在しているのである。  
その間にも、アレンジャーによって編曲された楽曲のオーケストラによる録音。ジャケット用スチールの撮影。

発売に向けての準備が着々と進められていく。

長谷川千恵は、幼い頃から歌手になりたいという夢を抱き、かなえることができた数少ない運と才能の持ち主である。

歌手は歌の世界のストーリーを演じる、主人公でなければならない。

その姿を感じ共感できて初めて、人々は口ずさむことになるからだ。



レコーディングの今日をむかえるまでに、何万回この曲を唄ったことだろう。一つの言葉、息継ぎで、より深くより感動的に表現することができる。言い換えれば、ほんの小さなことで、そのまったく逆になる可能性もある。決して楽しいだけではない、いや、厳しく辛い世界で戦っているのだ。妥協は、決して許されない……。



テイクは何度となく、くりかえされた。

何時間もの張りつめた空気の中、レコーディングは終了。

### 歌に生命は吹き込まれた。

企画の立ち上げから約6ヶ月、歌手、作詞家、作曲家のすべきことは、ここまでだ。



これからプロデューサーを中心に、ミックスダウン、マスタリング等の綿密な作業過程を経て、CDは発売される。

作家・歌手・レコード製作者達の熱い想いの結晶が、積み上げられてやっと形をなしていくのである。



----- 歌の生命は、創る人々の手を放れたとたん、聴く人々の手にゆだねられることになる。“愛され、育てる”ことで、歌は永遠の生命を吹き込まれることになるのだ。

「もっと歌を知って欲しい…

もっと歌を愛して欲しい…」

## ①舞踊教室、新舞踊教室訪問実態調査

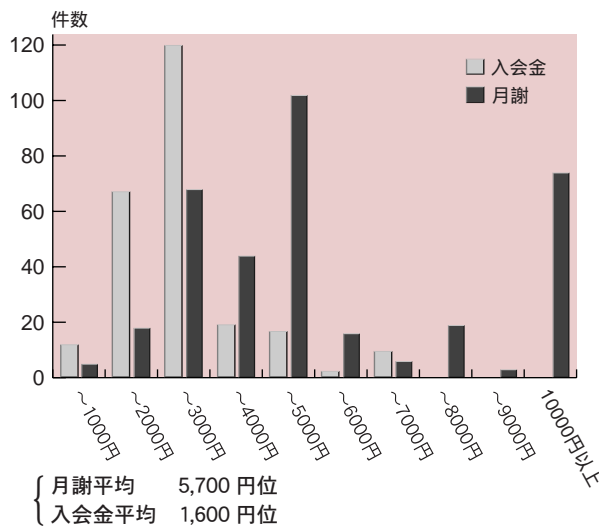
調査期間：2001年7月～2002年1月

調査件数：1,289件（有効回答数789件）

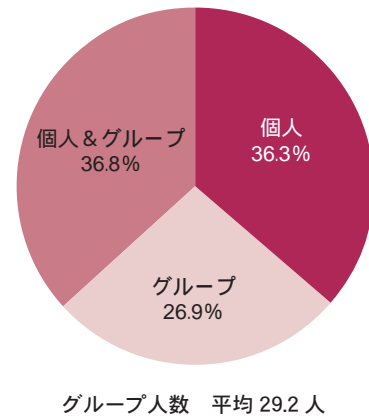
調査対象：全国の舞踊、新舞踊関係の教室

調査方法：訪問による面談調査（質問形式）

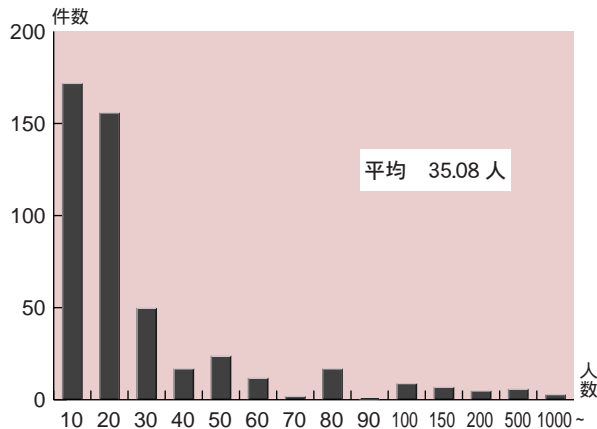
## ◎舞踊・新舞踊教室の月謝と入会金



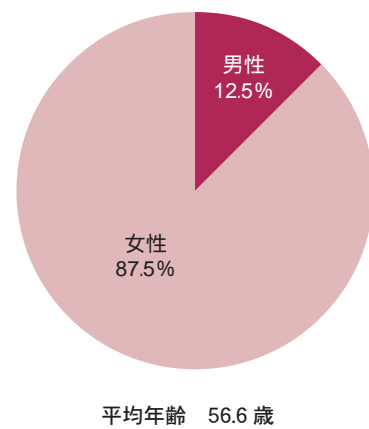
## ◎舞踊・新舞踊教室のレッスン形態



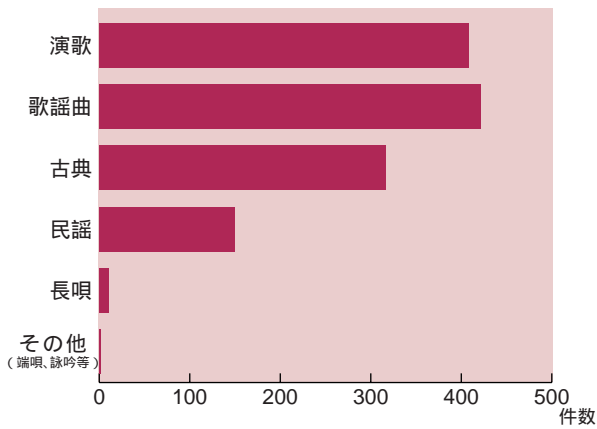
## ◎施設当たりの生徒数



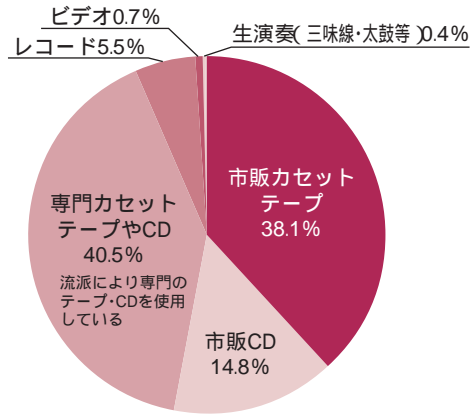
## ◎舞踊・新舞踊教室の男女構成比



◎舞踊・新舞踊教室の使用ジャンル（複数回答）



◎舞踊・新舞踊教室の使用音源



## ②各種音楽教室電話実態調査

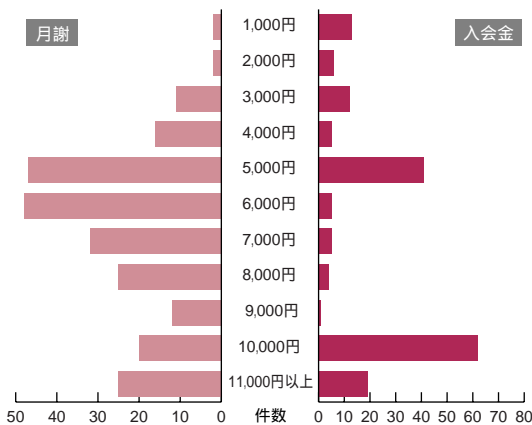
調査期間：2001年9月～10月

訪問件数：500件

調査対象：全国のダンス教室、エアロビクス、ハワイアンなどの踊りの教室、ピアノ・ギターなどの器楽教室

調査方法：入会希望の生徒として電話問い合わせする調査

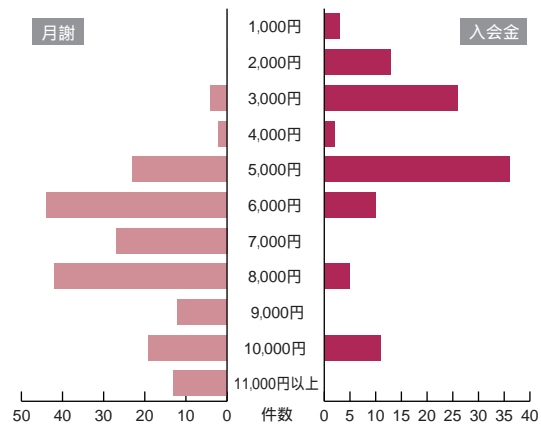
◎各種音楽教室の月謝と入会金 (ダンス・エアロビクス・ハワイアン等)



平均 6,800円位

平均 7,800円位

◎各種音楽教室の月謝と入会金 (ピアノ・ギター等)

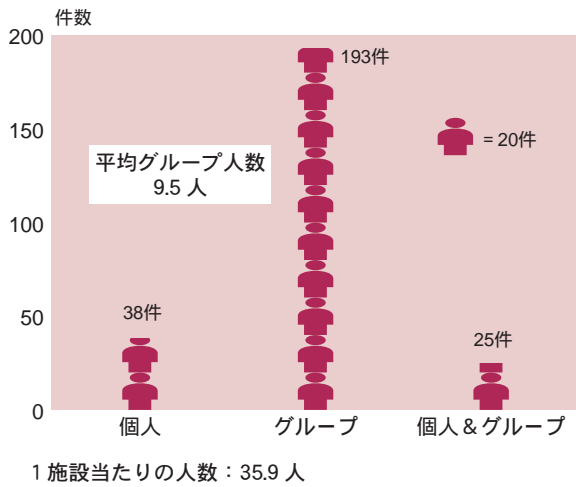


平均 7,200円位

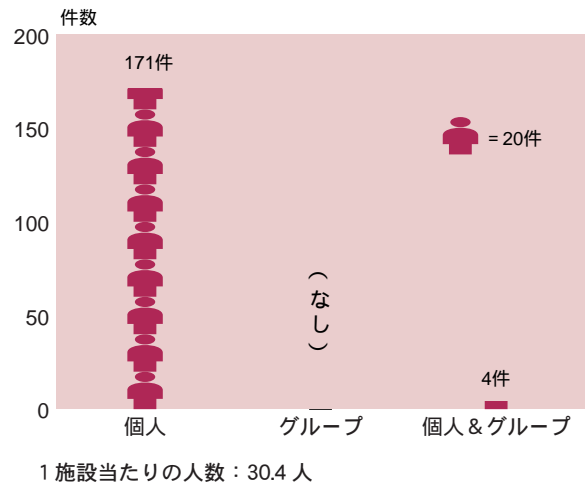
平均 5,200円位



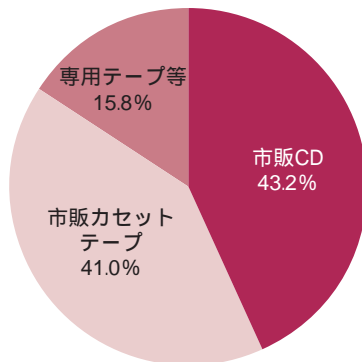
◎各種音楽教室のレッスン形態（ダンス等）



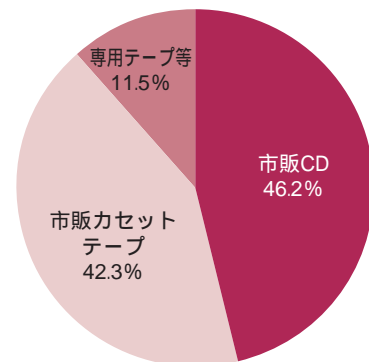
◎各種音楽教室のレッスン形態（ピアノ等）



◎各種音楽教室の使用音源（ダンス等）



◎各種音楽教室の使用音源（ピアノ等）



### ③調査活動のまとめ

不法録音物対策委員会の初年度は、舞踊・新舞踊教室の実態とダンスやエアロビクス、ハワイアンなどの教室・サークル（各種音楽教室）の実態について調査を実施した。

舞踊・新舞踊教室を調査した結果、カラオケ教室との比較では教室の大小にもよるが、入会金、月謝などの額や生徒数、年齢層についてもカラオケ教室とほぼ同等であることが判明した。

また、古典を主流として稽古をしているところでも、演歌や歌謡曲をバックに踊る新舞踊教室があり、使用音源はまだテープが主流で、各流派で出しているオリジナルの専用テープも使用している。

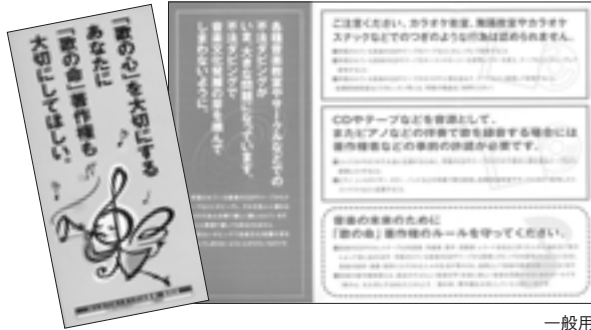
各種音楽教室を調査した結果でも不法録音を確認した（音源については様々）。

カラオケ教室と比較すると、入会金、月謝などが高めに設定（月謝 4,000 円、入会金 5,000 円）されており、ダンス・踊りの教室については、ほぼ課題曲を決めていることが判った。

このデータを委員会活動に生かすとともに、音楽教室全体の傾向をつかみ、不法録音に対する認識を把握し、具体的施策を打ち出して、効果的に啓発活動を進めていくことが必要である。

広報資料の作成・配布等

リーフレットの作成・配布

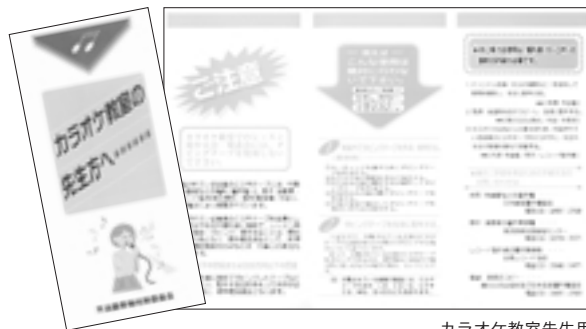


一般用

ポスターの作成・配布



カラオケ大会・発表会用 ( B2)  
教室用 ( B/3)



カラオケ教室先生用



レコード店用 (A2-1/2)



各種音楽教室用

レポート(活動記録)の作成・配布



## 広報コンサート

## 「あふれる想い、メロディ・・・あなたの耳に届くまで」 ～トーク&コンサート 2001～

In 長野 11/29 NBS ホール  
In 前橋 12/4 群馬県民会館

出演：鈴木淳／たきのえいじ／大谷明裕／松下章一  
(歌手) 長谷川千恵／田村恵  
(進行) 吉川精一



**プログラム** | 映像「愛する歌～その道のり」  
トーク  
ビデオメッセージ  
歌唱レッスン  
ミニコンサート



## 著作権講習会・説明会

日時	場所・会場	主催団体
2001年4月16日	愛知県名古屋市 毎日ビル国際サロン	日レ商組合総会 (三重・岐阜・尾張・静岡)
2001年4月26日	徳島県徳島市 グランドパレス徳島	日レ商四国支部
2001年5月16日	石川県小松市 法師ホテル	北陸日レ支部
2001年6月29日	三重県鈴鹿市 鈴鹿市文化会館	鈴鹿市芸術文化協会 鈴鹿市教育委員会
2001年8月26日	愛知県豊田市 豊南公民館	日本歌謡師範連盟豊田支部 豊田市教育委員会
2001年9月17日	東京都練馬区 北大泉地区区民館	北大泉地区区民館
2001年9月23日	岐阜県岐阜市 サンライフ岐阜	岐阜県カラオケ指導者協会
2001年10月4日	東京都昭島市 昭島市公民館	昭島市文化協会
2001年11月22日	兵庫県姫路市 姫路市役所会議室	姫路市教育委員会 姫路市公民館
2001年11月26日	新潟県新潟市 新潟市中央公民館	北友会 新潟市教育委員会
2001年12月9日	岡山県倉敷市 灘崎町民会館	岡山県歌謡アカデミー研究会
2001年12月26日	神奈川県横須賀市 衣笠公民館	衣笠公民館
2002年1月20日	岐阜県各務原市 各務原中央プラザホテル	中部カラオケ歌謡連盟
2002年2月12日	大阪府大阪市 大阪府立体育館	日本舞踊講習会 (テイテクエンタテインメント)
2002年2月16日	長野県茅野市 蓼科パークホテル	茅野市公民館
2002年3月8日 (2回開催)	長野県茅野市 茅野市公民館	茅野市公民館

(計16ヶ所)

メディア広告

●テレビ CM



	TV局	実施日	番組名
1	テレビ和歌山・サンテレビ	6、7月	浪花演歌まつり
2	テレビ東京 6局 NET	7月	夏祭りにっぽんの歌
3	テレビ埼玉・他 13局	8～10月	平成歌謡塾
4	テレビ北海道	8月	スポット広告
5	岐阜放送 5局 NET	8、9月	昭和歌謡大全集
6	テレビ大阪 6局 NET	11月	うち歌が好きやねん
7	奈良テレビ他 2局	1月	演歌新春歌はじめ
8	岐阜テレビ	3月	カラオケチャンピオン大会

●ラジオ CM

今、違法な録音で、演歌・歌謡曲の行く末が心配されています。歌は、歌をつくった人たちの思いを込めた結晶です。カラオケや舞踊教室などでは、市販の商品をご使用下さい。不法録音物対策委員会からのお願いです。

今、違法な録音で、演歌・歌謡曲の行く末が心配されています。カラオケや舞踊教室では、いい伴奏が欲しいですね。歌の未来のために、市販の商品をご使用下さい。不法録音物対策委員会からのお願いです。

「心に残る曲って、いつ聴いてもいいよね」今、違法な録音で、演歌・歌謡曲の行く末が心配されています。カラオケや舞踊教室などでは、市販の商品をご使用下さい。歌の未来のために、不法録音物対策委員会からのお願いです。

	ラジオ局	実施日	番組名
1	ラジオ大阪	4～9月	新世紀歌謡曲
2	コミュニティ FM57局	6～9月	元気はつらつ歌謡曲
3	東海ラジオ	8月	スポット
4	ラジオ大阪	7、8月	歌謡曲これイチバン!
5	ラジオ大阪	10月	日本シリーズ第一線
6	ラジオ大阪	12月	チャリティーミュージックソン
7	福井放送、札幌テレビ放送	12、1月	ゆく年くる年
8	東北放送 7局 NET	1月	みちのく歌謡祭
9	ラジオ大阪	3月	まるごとクイズ 138 連発

## メディア広告

## ラジオ生番組出演

ラジオ大阪 水谷ひろし「新世紀歌謡曲」 6回実施

## 新聞広告 (トーク&amp;コンサート告知等)

## ・新聞名

信濃毎日、上毛、毎日北信版、毎日群馬版

朝日ぐんま、よみうり群馬、その他ミニコミ、タウン誌

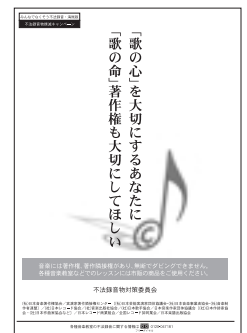
## 専門誌広告

## ・カラオケ専門誌

カラオケ fan、演歌ジャーナル、歌の手帖、カラオケ大賞  
TORA 他、計 10 誌

## ・舞踊関係

月刊みんよう、みんよう文化



カラオケ専門誌広告

## ポスター広告

- ・演歌歌謡曲新譜ダイジェスト版 (演歌推進レコードメーカー倶楽部)
- ・2001 関西歌謡大賞 (関西レ商)
- ・演歌華ざかり感謝セール (日本レ商)
- ・わくわくセール (東京レ商)



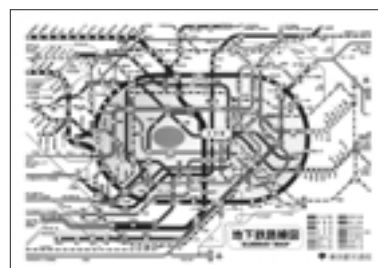
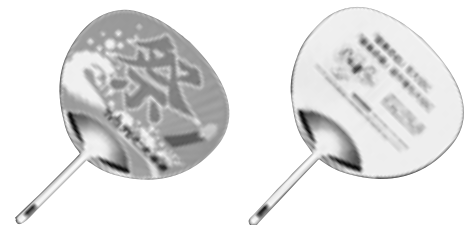
ポスター広告

## プログラム・チラシ・チケット等

- ・カラオケ演歌祭 (九州日レ商)
- ・名古屋城夏まつり (東海 TV)
- ・歌手協会歌謡祭 (日本歌手協会)
- ・かがわ演歌祭り (香川県レ商)
- ・流行歌ライブ 2001 (浪花演歌倶楽部) 他

## その他広告企画

- ・うちわ広告 さっぽろ夏祭り (TVH)
- ・路線図タイアップ広告  
都営地下鉄とタイアップ (都営 20 駅にて配布)
- ・市町村広報誌掲載  
北海道白糠町「しらぬか」



## 不法録音物対策委員会の発足

1997年5月7日に発足した「カラオケ教室不法録音物対策委員会」の4年間に亘るカラオケ教室に対する著作権思想の普及・啓発、改善指導・警告等活動によりカラオケ教室における不法録音物の減少という顕著な成果をあげることができました。

しかしながら、一方では録音機器の発達により誰もが容易に録音ができ、それに合わせて不法録音も幅広く行われるようになっており、今後ますます著作権思想の普及・啓発活動の重要性が増しております。

そこで、今後は、今までのような一部の教室を対象とした活動から、音楽利用が不可欠な各種教室における不法録音まで、その活動範囲を拡大し、著作権思想の普及・啓発、改善指導・警告、摘発活動の支援を推進し、もって不法録音物の撲滅、知的所有権の保護、日本の音楽文化繁栄に寄与することを目的に共通の立場にある音楽関連団体により「不法録音物対策委員会」が発足されました。

## 不法録音物対策委員会 概要

【構成団体】	(社)日本音楽著作権協会 実演家著作隣接権センター(CPRA) (・(社)日本芸能実演家団体協議会 ・(社)日本音楽事業者協会 ・(社)音楽制作者連盟 (社)日本レコード協会 (社)音楽出版社協会	(社)日本歌手協会 日本音楽作家団体協議会 (・(社)日本作詩家協会 ・(社)日本作曲家協会 他) 日本レコード商業組合 全国レコード卸同業会 日本楽譜出版協会
【活動対象】	(音楽を利用する各種音楽教室・サークル) カラオケ教室、民謡教室、舞踊教室、新舞踊教室、社交ダンス教室、エアロビクス教室、音楽愛好会・同好会など。	
【役員】	委員長 木村三郎(日本レコード協会 専務理事) 副委員長 細川英幸(日本音楽著作権協会 常務理事) 事務局長 丸山善光(日本レコード協会 特別業務部部长)	

### 不法録音 フリーダイヤル

各種音楽教室、サークルなどでの不法録音に関する情報がございましたら

0120-047181

©この事業は、著作権思想の普及を目的とする(社)私的録音補償金管理協会(SARAH)の共通目的基金から助成を受けて活動しています。

### 2001年 不法録音物撲滅キャンペーン REPORT

2002年5月31日発行

発行人 木村三郎  
発行 不法録音物対策委員会  
事務局 社団法人 日本レコード協会 特別業務部  
〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-3 日鐵木挽ビル  
TEL03-3546-0471 FAX03-3545-6739  
制作 株式会社トービ



みんなでなくそう不法録音・海賊版

不法録音物撲滅キャンペーン実施中